

令和6年度 第9回理事会

日時：令和7年1月28日（火）：19：00～

場所：ZOOM（オンライン）

慶事： 0件 弔事： 0件

施設数：153施設 会員数：930（施設会員 884/在宅会員 46）人（1月27日現在）

【審議事項】

1. 生涯学習ポイント申請について（訪問理学療法委員会）
2. 補正予算について（がんリハビリ推進委員会）
3. 第27回参議院議員通常選挙の推薦状について（事務管理局）

【報告事項】

1. がんリハビリ推進委員会より山梨がんサミット2024第3弾 参加報告
2. 2024 JOC杯 U20・U17 全国予選大会関東ブロック大会について（レスリング）
第79回スポーツ理学療法勉強会について（スポーツ理学療法部）

【事務管理局より】

- ・今年度の活動を終えた局・部・委員会はLINEWORKS トークで丸茂にご連絡ください。
- ・来年度の事業計画（案）、予算（案）の準備をお願いいたします。監事・理事・部長・委員長のフォルダ内（理事会⇒2024年度⇒2025年度 事業計画・予算）に各局や委員会ごとにまとめていただき、担当副会長に確認をいただいてから、フォルダへ提出をお願いいたします。3月15日を期限としたいと思いますが、早めの提出をお願いしたいと思います。

【磯野会長】

今年度最初の理事会で、改めてあけましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。1月22日に研修会を開催しました。1月6日に秘書の内藤さんから連絡があり、なかなか来県できないこともあって24日までに来県したい希望がありました。来県を受けることを、三役で共有し研修会を開催しました。連盟にもお願いして、日中には施設周りができればという事で、前回来県予定であった際に組んだ施設を参考に、連盟の小林会長、萱沼事務局長に対応をしていただいた。また、受け入れていただいた施設はありがとうございました。研修会は、できるだけ選挙につながるイメージがつかないようにしながら、会員にとっては重要なことと思って開催しました。研修会には40名くらい来ていただいて、今後重要な活動になるかと思えます。

また、推薦状がきていて個人や三役で決めることでないので、理事会でご審議頂いて決定できればと思います。

【 審 議 1 】

提出者	竹中 悠	部局名	訪問理学療法委員会
議 題	令和6年度 生活期リハビリテーション研修会について (山梨県リハビリテーション専門職団体協議会)		
内 容 および 提出趣旨	<p>研修会名：令和6年度 生活期リハビリテーション研修会 日時：令和7年3月9日（日）13：30～17：30（13：00 受付） 場所：山梨県医師会館（甲府市徳行 5-13-5） 対象：山梨県理学療法士会会員・山梨県作業療法士会会員・山梨県言語聴覚士会会員 定員：50名 参加費：500円（資料代） テーマ：介護報酬改定における多方面連携について</p> <p>研修内容：</p> <p>①山梨県訪問リハビリテーション実態調査報告 つゆき訪問看護ステーション 作業療法士 渡邊 未来 氏 （訪問リハビリテーション委員会）</p> <p>②各専門職からリハ専門職との連携のポイント</p> <p>訪問歯科の立場から おざわ歯科医院 歯科医師 小澤 章 氏 歯科衛生士の立場から おざわ歯科医院 歯科衛生士 坂野 さおり 氏 管理栄養士の立場から 甲州リハビリテーション病院 管理栄養士 田中 友美 氏 言語聴覚士の立場から つゆき訪問看護ステーション 言語聴覚士 岡 大樹 氏 山梨リハビリテーション病院 言語聴覚士 萩原 由香 氏 療法士の立場から 湯村温泉病院 理学療法士 新井 則善 氏</p>		
	提出資料	<input checked="" type="checkbox"/> 無・有	
提出者の意見	<p>・本研修会の周知をお願い致します。</p> <p>・生涯学習ポイント申請「カリキュラムコード 区分 12—140 リハビリテーション栄養」で申請をお願い致します。</p>		
	提出資料	<input checked="" type="checkbox"/> 無・有	資料番号等
主な意見内容 など	・特になし。		
結果	承認された。		
公開度	<input checked="" type="checkbox"/> A（部長・委員長・代議員）	<input checked="" type="checkbox"/> B（会 員）	<input type="checkbox"/> C（一 般）

【 審 議 2 】

提出者	山田洋二	部局名	がんリハビリ推進委員会
議 題	補正予算計上について		
内容および 提出趣旨	本年度の予算に関しまして、補正予算案をご審議いただきたく存じます。		
	提出資料	無・有	開催案内
提出者の意見	<p>1. 補正予算計上の背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月11日開催予定の「第1回 山梨県理学療法士会がんのリハビリテーション研修会」(資料)において、当初の見積もりを上回ることが判明しました。 ・令和6年度予算：160,000円 内訳(概算)：旅費交通費：55,000円 講師謝金：100,000円 源泉徴収金：10,210円 ・上記の予算には、講師謝金には委員の日当(がんフォーラム山梨の日当、会議費)も含めておりました。 ・令和7年1月現在での支出は62,085円(内訳は、がんフォーラム山梨、会議での委員への日当・交通費です)、残金は97915円です。 <p>2. 補正予算の詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象事業名：第1回 山梨県理学療法士会がんのリハビリテーション研修会 ・補正予算額：47,679円 ・内訳：講師2名謝礼金 30000円+20000円=50000円 講師謝礼金源泉徴収金 3063円+2042円=5105円 宿泊費 12700円×2名=25400円 講師の交通費 8524円+8540円=17064円 委員の日当+交通費 2000円×5名=10000円 交通費5名で2025円 会場費 3000円 懇親会費 3万円 会議費2025年1月分3000円 計145594円の経費が見込まれます。 ・試算の結果、本年度の予算残金は97915円であり、47679円が不足となります。 ・予算超過の要因は、①講師を2名、対面開催としたこと、②がんフォーラム山梨での日当が予定より超過したこと、会計管理が不十分であったことが挙げられます。 <p>3. 今後の見通し</p> <p>補正予算を計上いただくことで、研修会の円滑な遂行が可能となり、県士会員へのがんリハビリの臨床実践に関する知識向上を実現することができます。</p> <p>つきましては、理事会にて補正予算案をご審議いただきたく、資料をご確認のうえ、何卒ご承認くださいますようお願い申し上げます。</p>		
	提出資料	無・有	研修会開催案内
主な意見内容など	<p>磯野会長：使える残金の中で講師の先生もお願いして、謝礼、宿泊費や交通費を開催できると予算を組まれると思う。講師を県外の方に来て頂いて、謝礼、宿泊費などを決めて企画した時点で、これでいけると判断したのでしょうか。</p> <p>山田：夏ごろには構想をして依頼をされていてできると判断した。委員の日当について認識していなかったため、研修会の企画が立って、がんフォーラム山梨の日当も踏まえていなかったためこのような状況になった。</p> <p>磯野会長：補正予算を組んでやりますが、懇親会は通常通りやる。懇親会行ったら今後も認める状況になります。この件についてはいかがですか。懇親会をやったから補正予算で補</p>		

	<p>填したことは、皆さんが認めるようであれば補正予算を組んでやってもいいと思います が、いかがでしょうか。</p> <p>有泉副会長：懇親会費は規定であり最大3万円で認められているが、接待になるが接待費と して認められています。こういう形は何とも言えない。今後のことを考えると、今年度 予算を組む段階で、15万5千円だったが上乗せして16万円になったので、判断は難しい がよろしいかという、自分の意見がまとまっていない。懇親会費の3万円が不足の中 では大きい。</p> <p>上田理事：講師とのやり取りがかなり進んでいた段階で、考えて実費でできることは山田先 生と話をしている。懇親会の3万円は、この段階での懇親会費がこのまま通ると、今後の 会の運営として例を作るのは難しいので、懇親会の3万円は難しいのではないかと。</p> <p>高村副会長：これは会員のお金をいただいて運営をしているので、会長の意見はまっとうで す。見積もりが甘かったのことはあるが、補正予算があるのであればいいが、補正予算が なければ難しい。今後予算を立てる時に注意するので良いのでは。ルール上は委員の日当 を踏まえていなかったのであれば、今回は個人的には承認してもよいと思う。</p> <p>平賀理事：学術研修部では、どうしても懇親会で予算を引っ張られるが、接待で業務の割合 が多いと思う。講師のおもてなしが業務の範疇であれや無得ない。予算を作るときに誰を 呼ぶか、研修会を試算するときに注意していければ良いのでは、今回は個人的には良いと 思う。</p> <p>鈴木理事：今回解釈として、研修会の見積もりというよりはがんフォーラムでかかったよう なので、そちらの解釈での理由付けで、そちらの予算を間違えたということで今回は良い のではと思う。</p> <p>大西理事：平日で泊まるのは石和近辺で、12000円はおひとりでは結構いいところではと思 うのでここは削れないか。</p> <p>山田：1万円のところではスパランドといった施設になるので、県外からお越しいただくの で、そうでない施設を選んだ。</p> <p>大西理事：泊まる場所を検討してみれば削れるのではないかと。</p> <p>磯野会長：3万円という金額は県士会として重大な問題にはならないが、企画して先生が来 られて懇親会というよりも接待してつながりを作るお金としては高い認識ではないが、今 後同じようなところが出てくる場合に、そこはしょうがないというようなことがないよう に予算管理としていただきたい。</p> <p>上田理事：どの程度が講師代としての相場ですか。</p> <p>高村理事：山梨県士会と呼ぶのであれば会長の顔をつぶすのは良くない。協会に準じた 形で決まっているので、役職、時間で決められた形でよいと思う。</p> <p>平賀理事：協会に入っていれば県外内に限らず相場になっているので、協会に準じているの であれば問題ないと思います。</p> <p>磯野会長：規定通りお支払いするのが良いと思うので、その通りにしていればと思う。</p>		
結果	補正予算を計上で承認		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	B (会 員)	C (一 般)

令和7年1月11日

会員各位

一般社団法人 山梨県理学療法士会
会 長 磯野 賢
がんリハビリ推進委員長 山田 洋二
(公 印 省 略)

第1回 山梨県理学療法士会がんのリハビリテーション研修会 開催案内

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

がんリハビリ推進委員会では、がんをもつ方のリハビリテーション（以下、がんリハ）に関する知識、技術の向上を目的として、「山梨県理学療法士会がんのリハビリテーション研修会」を開催する運びとなりました。がんリハ実施施設に所属されている会員だけではなく、回復期、生活期の領域に従事されている会員に対し、がんリハに興味を持っていただける内容にしたいと考え企画致しました。がんリハ病期の維持的、緩和的におけるADL障害に対する関わりについて、先進的な実践をされている先生方を講師として招聘し、会員の皆様と共有できればと考えております。

つきましては、下記の要領に開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

敬具

記

1. 開催日時 2025年3月11日（火）18:30～20:30
2. 会 場 大木記念ホール
3. テーマ
「がんリハビリテーションにおける維持期、緩和期でのADL障害に対する臨床実践」
4. 講 師 静岡県立静岡がんセンター 作業療法士 田尻 寿子 先生
理学療法士 米永 悠佑 先生
5. 対 象 山梨県理学療法士会員
6. 開催形式 ハイブリッド開催（会場参加+オンライン参加）
7. 参加費用 無料（事前申し込み制）
8. 参加定員 会場参加：30-40名 オンライン参加：別途ご案内
9. 申込方法 3月1日（土曜日）までに下記URL又はQRコードからWEB上で参加お申込み下さい。

<https://forms.gle/3VVspbjbmribLeSk6>



尚、WEBでの申し込みが困難である場合は、お手数ですが下記の問い合わせメールアドレス宛てにご連絡をいただきますようお願い致します。

3月1日（土曜日）までに受付完了の旨と当日の開催概要について、メールで返信致します。期日までに返信が無い場合はお手数ですが下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

10. 備 考

登録理学療法士 2.0 ポイント（区分 9-116 「がんのリハビリテーション」）

認定・専門理学療法士更新 2.0 点

* 登録理学療法士更新、認定・専門理学療法士更新いずれかへの使用となります。

上記を取得されていない方も研修への参加は可能です。

以上

〈問い合わせ先〉

帝京科学大学 医療科学部 理学療法学科 山田洋二

TEL : 0554-63-4411 e-mail : y-yamada@ntu.ac.jp

【 審 議 3 】

提出者	山下 浩樹	部局名	事務管理局
議 題	第 27 回参議院議員通常選挙の推薦状について		
内 容 および 提出趣旨	<p>2025 年 7 月 28 日に任期満了となり、7 月に衆議院議員通常選挙が行われる予定となっている。田中まさし事務所より、一般社団法人山梨県理学療法士会に推薦状の依頼がありました。</p> <p>提出資料 <input type="checkbox"/> 無・<input checked="" type="checkbox"/> 有</p>		
提出者の意見	<p>田中まさし氏は「厚生労働部会 リハビリテーションに関する小委員会 事務局長代理」「リハビリテーションを考える議員連盟 事務局長」など多くの要職につかれ、理学療法士の立場からも政策を進めている。政治の場で理学療法士の声を伝えていただくのにも必要な方だと考えます。一般社団法人山梨県理学療法士会としての推薦のご検討をお願いいたします。</p> <p>提出資料 <input type="checkbox"/> 無・<input checked="" type="checkbox"/> 有 資料番号等</p>		
主な意見内容 など	意見はなし。		
結果	理事会一致で承認		
公開度	<input checked="" type="checkbox"/> A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	<input type="checkbox"/> B (会 員)	<input type="checkbox"/> C (一 般)

推薦状

参議院議員 田中 まさし 殿

第二十七回参議院議員通常選挙にあたり

貴殿を候補者として最適任者と認め推薦いたします。

令和 七年 一月 二十八日

名称 一般社団法人山梨県理学療法士会

代表者 磯野 賢

住所 山梨県笛吹市石和町四日市場二〇三一

【 報 告 1 】

提出者	山田 洋二	部局名	がんリハ推進委員会
議 題	【活動報告】 山梨がんサミット 2024 第 3 弾 参加報告		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
内 容 および 提出趣旨	<p>日時：令和 6 年 12 月 22 日（日） 10：30 ～ 17：00</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者（敬称略）合計 8 名 委員 4 名：山田、遠藤、中島、宮下 運営スタッフとして応募していただいた県士会員：4 名 活動報告 <ul style="list-style-type: none"> NPO 法人がんフォーラム山梨主催 山梨がんサミット 2024 第 3 弾へ参加しました。 内容は前回同様にロコモ評価 リンパ浮腫についてのブースを出し、来場者の身体機能測定、相談対応を行った。 急遽、パネルディスカッションへ登壇することになり、山田が担当した。前回と同様に県士会がんリハ推進委員会の活動について発言する機会を得た。 運営スタッフを公募したことにより、マンパワーが充足し、来場者に対して個別に、十分な時間をとり対応することができた。 リンパ浮腫に関しては業者（ナック商会 営業担当 大野様）中心に対応していただく。 ブースへの来場者は年末の時期であること、インフルエンザの流行時期であったことも影響していたためか、10 名と前回より少なかった。 		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	特になし。		
結果	報告の通り。		
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

【 報 告 2 】

提出者	小林 幸一郎	部局名	スポーツ理学療法部
議 題	1) 2024 JOC 杯 U20・U17 全国予選大会関東ブロック大会について（レスリング） 2) 第 79 回スポーツ理学療法勉強会について		
内 容 および 提出趣旨	1) 2024/12/25（水）11:00-17:30、26（木）8:00-13:30 小瀬スポーツ公園体育館メインアリーナ 医務担当：12/25 中島耕平医師（スポーツ医科学学センター）、スポーツ PT 部員 5 名 （小林幸一郎、古屋伴仁、大森英功、古屋美智留、安藤駿） 12/26 橋本立子医師（スポーツ医科学学センター）、スポーツ PT 部員 4 名 （小林幸一郎、山下太輔、齋藤恵介、高橋謙太） 対応数：マット上と救護所対応で 34 件（救護所 15 件、マット 19 件） 内容：止血処置、テーピング 他 2) 2025/1/21（火）19:00～21:00 ZOOM（ウェビナー）で開催 テーマ：ACL 損傷の診断、治療、リハビリテーション～受傷からスポーツ復帰まで～ 講 師：国立病院機構甲府病院 スポーツ・膝疾患治療センター センター長 落合聡司 先生 参加者：61 人（医師、スポーツ指導者含む）		
	提出資料	無・有	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	1) 本年度は 2 人日に分けて開催のため人員確保には難渋したが、医師とのコミュニケーションも良好に重大事象なく無事に終了した。開会主催者、医師からも良好の評価であり次回も依頼したいとの声も聞かれた。 2) 今回はスポーツ外傷の一つで受傷後に復帰に向けてのリハビリテーションが重要である ACL 損傷について解剖から手術方法まで多くのスライドで大変分かりやすお内容であった。理解することは理学療法を進めるうえで重要なため大変参考になると思われる。		
	提出資料	無・有	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	磯野会長：61 名も集まった。 古屋理事：スポーツ関係やトレーナーの方もの参加もあったので。		
結果	報告の通り		
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）